

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		広すぎると活動が大きくなりすぎる事がある為、ホールを区切ったり、ルールを決めて危険がないよう注意をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	4		下校時間が重なってしまったり、宿題の支援に職員が入ったりした時に不足する時間帯があるが、職員同士で声を掛け合いながら工夫している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		バリアフリーを考えるとドアの開閉の向きや個室の広さの改善が必要である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3		定期的に職員全員が参加できる会議の時間をとる必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3		保護者の方からの意見を職員間で共有して支援に生かしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		法人のホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			職員研修を行っている。 それぞれの職員が、進んで研修に出ている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		各関係機関とも連携を図ってニーズに応えるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		職員間で話し合い、活動計画を立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		個の状況、集団の状態に柔軟に対応をしている。複数の職員が定期的に担当を入れ替え対応し、固定化を防いでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			職員会議の中でタイムスケジュールやグループ分け等行っている。また、当日の利用されるお子さんによっても課題を決め、対応できるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3		個別の活動、集団活動を組み合わせて、計画を作成している。個の実態における目標の設定や、集団で伸ばしたい力など組み込んで作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		打ち合わせの内容を可視化し、全職員で共有できるようにしている。開所前に打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3	1	記録を残すことでも振り返りを行い、全職員で共有している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	3	複数の職員に聞き取りを行うことで細かい行動のきろくが取れるようにし、支援につなげている。状況把握でとどまらず、改善に向けて話し合っている。
--	----	--	---	---	---

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			適宜モニタリングを行い、見直しを行っている。関係機関の情報を元に弾力的に見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	2		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			児童発達支援管理責任者が、担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3	1	現在は、医療的ケアの必要な児はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4		利用前に情報共有会議をおこなっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2		移行先の事業所にて、担当者会議を行った。情報の引継ぎを丁寧に行い、本人さんや保護者が安心して移行できるようサポートしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		施設支援等を活用し、助言をいただいている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		6	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		5	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	3		送迎時等に、学校や家での状況などを伺うようにしたり、その日の活動内容や様子をお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・プログラム等の支援を行っているか	3	5		参加の声掛け等し、実施を試みるが、コロナの影響でできていない。助言というよりも、おうちの方々に対して、頑張りを認める声掛けはおこなっている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			利用開始の際には、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	4		保護者に寄り添って受け止めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	5	現在は開催できていない状態だが、近いうちに開催できる準備をしていきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		毎月、いきいきっ子だよりを発行し、ホームページ等に掲載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			十分配慮している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2		個々に対応できるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	2	行事招待ではないが施設の見学希望の方にはいつでも見学してもらっている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	5		災害が起きた時の避難場所等をお便りにてお知らせをしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		事前予告あり、なしの両方の訓練を実施している。今年度は消火訓練を4月におこない、10月には通報訓練を行う予定である。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			担当者が、研修会に参加し、職員全体での研修会も設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	5		現在、身体拘束を行う必要のある子どもはいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	3		保護者からの聞き取りで、除去食や形態を変え対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		事業所内で共有している。